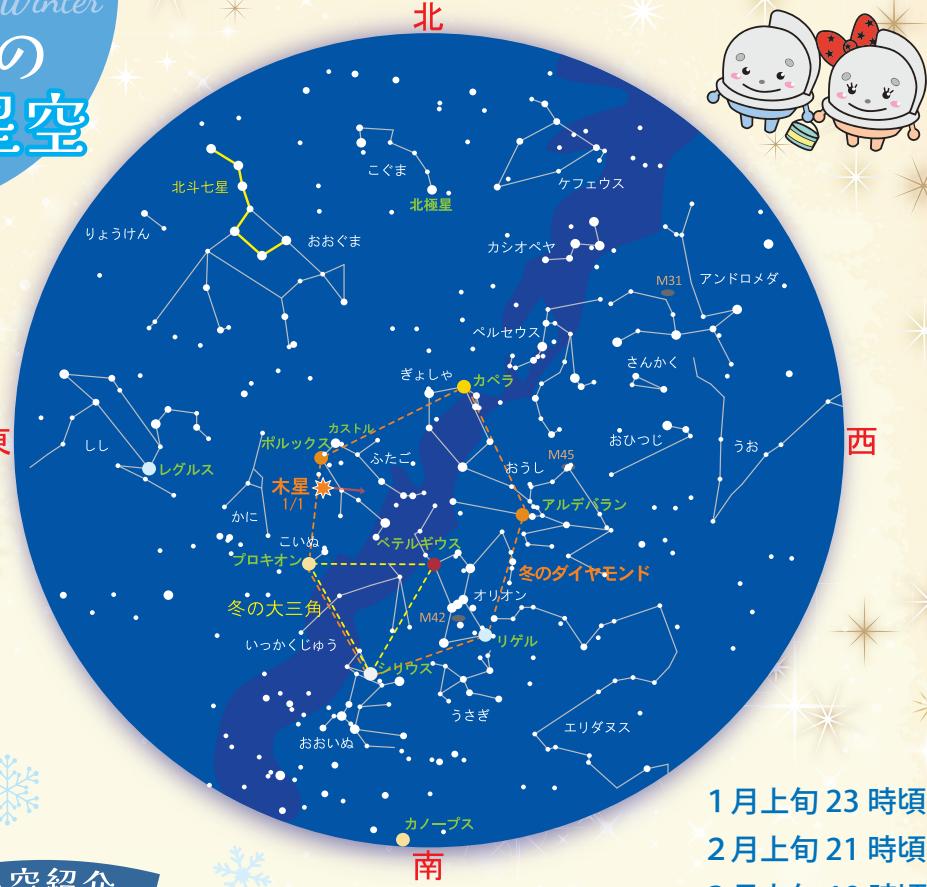


冬の星空



星空紹介

南の空に、有名なオリオン座が姿を見せるようになると、冬の訪れを感じます。三つ並んだ星（オリオンの三つ星）と、それを囲む四つの星々は、ギリシャ神話に登場する狩人オリオンをあらわしています。

オリオン座から南東の方向に目を移すと、夜空で最も明るい星であるシリウスが、おおいぬ座の口のあたりで輝いています。おおいぬ座の北の方には、こいぬ座もいます。こいぬ座で輝くのはプロキオンです。オリオン座のペテルギウス、おおいぬ座のシリウス、そして、こいぬ座のプロキオンを結ぶと冬の大三角になります。

また、オリオン座を中心に北東方向には、ふたご座、北にはぎょしゃ座、北西にはおうし座があります。おうし座の肩のあたりに目を移すと、いくつかの青い星の集団が見えます。これは「すばる（プレアデス星団、M45）」と呼ばれる若い星の集まりです。肉眼でも六つほど星を数えることができ、双眼鏡を使えば、もっと多くの星々が散りばめられたように輝くのを楽しめます。

この夜空の中には、美しいダイヤモンドも隠されています。オリオン座のリゲル、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオン、ふたご座のポルックス、ぎょしゃ座のカペラ、そして、おうし座のアルデバランを結んだ大きな六角形が冬のダイヤモンドです。

冬の星空はとてもきらびやかです。冷たい空気の中、澄んだ夜空に輝く星々を見上げてみましょう。

平成28年4月、市政施行10周年を記念し、シリウスが浅口市の星に決まりました。



みどころ

惑星

- ★金星：3月上旬ごろから日の入後、西の空に見える。（宵の明星）
- ★木星：一晩中、観察できる。
- ★土星：2月下旬ごろまで日の入後、西の空に見える。

流星群

- ★しぶんぎ座流星群
1月4日6時ごろピーク。月明かりの影響があり、観察条件はよくない。

月

- ★皆既月食
3月3日に条件良く、全国で見られる。
18時50分から部分食が始まり、20時34分に皆既食の最大、22時18分に部分食が終了。

月の満ち欠け

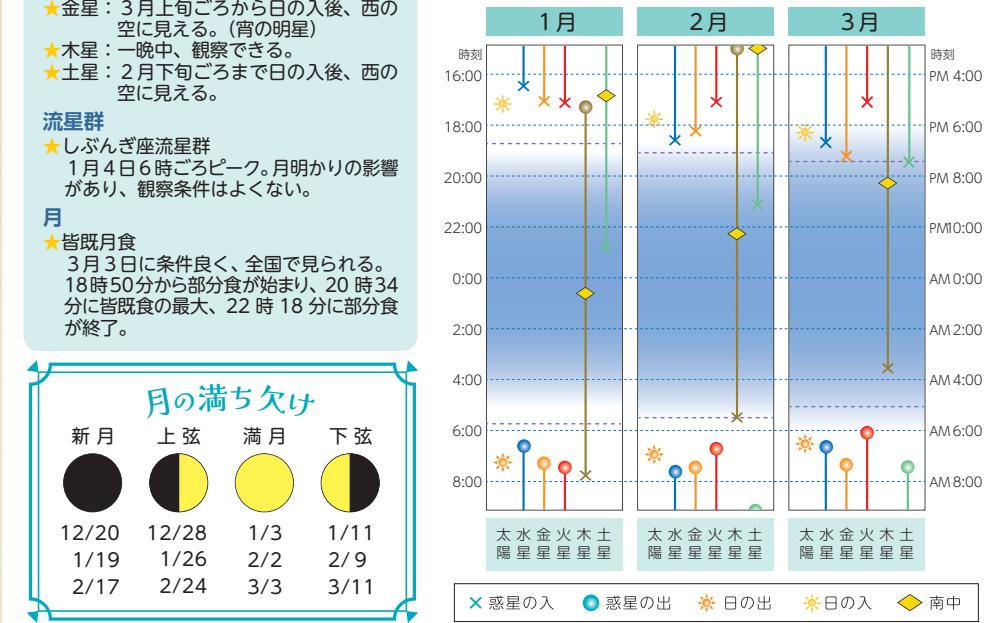
新月	上弦	満月	下弦
12/20 1/19 2/17	12/28 1/26 2/24	1/3 2/2 3/3	1/11 2/9 3/11

1月上旬 23時頃

2月上旬 21時頃

3月上旬 19時頃

各月上旬の惑星の見え方



プラネタリウム番組紹介

南極ヒーリング

—この地球の果てで—



地球で一番寒い場所・南極。

そんな過酷な気象条件の場所に今も、昔のままの雄大で美しい自然環境が残されています。

澄んだ空気に映る蜃気楼、大気を舞う氷の結晶に太陽光が反射してできる太陽柱など、日本ではなかなか見ることのできない自然現象をご紹介。

また、日本では限られた場所からしか見ることのできない南十字星をはじめ、街明かりのない南極の満天の星をおとどけします。

ナレーションは人気女優の多部未華子さん。

静寂に包まれて感じる“癒し”、非日常の世界で開放される“感覚”をぜひ体感ください。

こちらも投映中
特別番組



主人公たの将来の夢は宇宙天気予報士になること。

ある日の放課後、夢についての授業がきっかけで、同じクラスの祐香と遥斗と話をすることになったのですが……。

みんなで宇宙天気について考えたり、VR(仮想現実)で宇宙を体感したり、普段とはちょっと違う放課後のはじまりです。